

第1回相模が丘地区避難所開設訓練 実施！

11月28日(土)午前9時より相模が丘小学校において、相模が丘地区自治会連合会(地区自連)の避難所開設訓練を行いました。

訓練は、午前9時に発災の想定で、まずは近くのいっとき集合場所へ。ここで全員(参加者)の安否確認を行った後、広域避難場所に指定されている相模が丘小学校校庭に移動。



校庭では、初めに市自連役員や学校長、関係者の挨拶、紹介がありました。その後、座間市安全防災課職員の説明を聞き、防災意識の高い120名の参加者は、2つのグループに分かれて、避難所開設に着手。

体育館では周囲と、中央に十字の通路を設け、四区画の避難スペースを確保。一人分の専有面積はたいへん狭いが、それでも一区画は約40名。実際に多くの人が避難して来ることを想定すると、いかに大変であるかが分かる。外では、備蓄倉庫の備蓄品や飲料水の確保について説明を受けた後、簡易トイレの組み立てを勉強。避難所開設の難しさを体感しながらの有意義な3時間でありました。

地区自連では、今後避難所ごとに「避難所運営委員会」の設置を進めていく予定です。

- 相模が丘地区
避難所
- | | |
|------------|-------------------------|
| 1 相模が丘小学校 | (対象)第一自治会、二丁目自治会、カーサ自治会 |
| 2 相模が丘コミセン | (対象)三丁目自治会、五丁目自治会 |
| 3 相模中学校 | (対象)第四自治会、エステ自治会 |



熱心に説明を聞く参加者。
身を乗り出して、みんな真剣だ。



避難所内における一人の専有スペースは、
1m×2m。畳一畳あまりだ。
備蓄倉庫に用意されているのは、二人分
で一枚の広さの薄いマットだけ。



簡易トイレの組み立て。取説を見ながらの
組み立ては、けっこう手間がかかる。



簡易トイレ 完成！所要時間20分。
一応、個室感覚で利用はできるが、さて
使用の心地よさはいかに？